

- 今般のPPE配布においては、各市町村ごとに以下の考え方で算出した配布量の目安を基に、配送ロットや予備等を踏まえて最終的な配布量を決定している。
- 都道府県に対する医療従事者分の配布量は、医療従事者分の各市町村の配布量を積み上げて算出している。

接種対象者の前提

医療従事者等 **市区町村人口×4%** ※予防接種の手引き上の3%に予備の1%を上乗せ。

高齢者 **令和2年住民基本台帳年齢階級別人口の65歳以上の者の合計**

物資ごとの使用前提等

サージカルマスク **接種対象者×2÷100回×7人（枚）**
 ・会場担当者（接種チーム(予診、接種、薬液充填・接種補助)計3名、経過観察者1名、事務職員3名で1ライン)の装着を想定。
 ・1日1ライン100回接種を前提として算出。

非滅菌手袋 **接種対象者×2 + 接種対象者×2÷100回（双）**
 ・接種者の装着（被接種者ごとの交換）、薬液充填・接種補助者の装着、予診・緊急対応の必要時の装着を想定。
 ・薬液充填・接種補助者装着分は、サージカルマスクの会場担当者に含まれるため、同様の考え方。
 ・予診・緊急対応の必要時装着分は、接種者装着分の予備で賄う。

N95等マスク **（都道府県配布分）1,500箇所×100枚を総量として人口比按分**

アイソレーションガウン **（市区町村配布分）市区町村人口÷1万人×1箇所×100（枚）**

フェイスシールド ・大規模接種会場における緊急時使用備蓄を想定。
 ・大規模接種会場は、ファイザー社及びモデルナ社ワクチン用の冷凍庫の配備を念頭に、都道府県配布分は計1,500箇所、市区町村配布分は1万人当たり1箇所を想定し、1箇所100枚で算出。
 ※サージカルマスクと非滅菌手袋に比べて配布数が少ないことから、市区町村には今後の必要分をまとめて配布